

鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」会合（第2回）  
及びロシアビジネスセミナーの開催

平成30年5月  
通商物流課

鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」会合（第2回）を開催しました。

また、鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンター運営を委託している北海道総合商事（株）の天間代表取締役が講師となり、ロシア郵便局を利用したロシアビジネスを提案するロシアビジネスセミナーを開催しました。

## 1 鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」

### （1）第2回会合の実施日時等

日時等：平成30年5月8日（火）午前10時から（米子コンベンションセンター）

出席団体：県経済団体（各商工会議所、中小企業団体中央会）、金融機関、鳥取大学、文化・スポーツ交流団体、（一社）山陰インバウンド機構、（独）中小企業基盤整備機構、日本貿易振興機構、環日本海経済活動促進協議会、（公財）鳥取県産業振興機構、県内4市、中海・宍道湖・大山圏城市長会、鳥取県等27団体

### （2）第2回会合の概要

目的：本年2018年が、日露両政府が合意した「ロシアにおける日本年」、「日本におけるロシア年」という日本とロシアの友好交流記念の年に、県内の各関係者と連携して、幅広い分野における交流促進及び環日本海定期貨客船の利用促進に繋げていく。

内容：昨年度のプラットフォームにおける取組を事務局及び関係団体から報告するとともに、本年度予定している取組に関して事務局と関係団体とで意見交換を実施した。

本年度の取組：プラットフォームでは、次の4つのミッションについて各ワーキンググループ（WG）で実施する。

#### 【中小企業交流WGによる経済団派遣・受入】

- 実業ロシア経済団の受入（9月上旬：鳥取県内及び大阪市内）
- ロシアへの経済ミッション派遣（本年秋頃を予定）

#### 【人的交流WGによるインバウンド拡大、友好交流地域との更なる交流促進】

- モスクワ～東京間の自動車ラリーの機会に鳥取県PRをし、ロシアからのインバウンド拡大につなげる取り組み（9月14日から16日）
- 沿海地方との間の新たな交流にむけた取り組み（10月末頃：ウラジオストク市）

### (3) 出席者からの意見

【金融機関】ここ数年の日露両政府間の友好的な状況もあり、日本海側の企業からもロシア企業とのビジネスマッチング依頼が増加してきた。今後も、ビジネスマッチングの依頼があれば積極的に協力していきたい。

【中小企業基盤整備機構】ロシア事業は、件数として少ない。ただ、昨年度から海外ビジネス戦略推進事業として海外展開を支援しているところ、今後、進展するかもしれない。

【ジェトロ鳥取】日露首脳会談を受け、H28から「ロシア展開支援事業」をスタートした。16名の専門家によるハンズオン支援を無償で受ける枠組みなので是非とも活用してほしい。

【インバウンド機構】ロシアからの観光客数は全体で60位程度であるが、昨年は、40%以上の伸び率を見せており、今後は非常に有望な市場。関係者で努力して取り組みたい。

【鳥取大学】5年前からロシアとの交流を開始し、ウラジオストクの極東連邦大学、太平洋国立医科大学を中心に、毎年、5人前後の医師・看護師の相互派遣交流を実施している。

【鳥取県柔道連盟】ロシア沿海地方との柔道交流を2010年から継続している。今年度は、ロシアからの交流団を受入、合同練習・交流試合を実施する予定。今後も継続したい。

【伯耆しあわせの郷】これまでウラジオストクとハバロフスクで、倉吉絃の展示会を開催してきた。ロシアは日本文化に対する関心が高く、大好評を得てきた。今年度もロシアで絃展覧会を開催する予定。なお、今年度の4月から11月までロシア語講座を開催予定。

【中海・宍道湖・大山圏域市長会】鳥取県ウラジオストクビジネスセンターが支援出来る具体的なメニューを提示いただけると、加盟団体にも広報出来るので提供して欲しい。

【境港市】DBSの輸送実績が伸びているのは、非常に喜ばしい。貨物の種類で何が伸びているのかを教えて欲しい。また、ロシアにおける通関の状況も併せて教えて欲しい。

【島根県】今年度から、島根県も北海道総合商事にビジネスセンターを委託する事になった。今後は、鳥取県と一緒に協力してロシア市場に取り組みたい。

【事務局から中小機構へ】ウラジオストクにマツダのエンジン工場（ノックダウン式）が建設されるため、今後、広島県や島根県に多くある部品のサプライヤーの流れがどうなるかを教えて欲しい。

## 2 ロシアビジネスセミナー

(1) 日時等：平成30年5月8日（火）午前11時から（米子コンベンションセンター）

(2) 講師：北海道総合商事（株） 代表取締役 天間 幸生

(3) 内容：ロシアの経済情勢を中心とした一般知識を講義するとともに、ロシアとの貿易に関心のある企業は、同サポートセンターが支援する旨を説明。

また、同商事（株）は、ロシア・ウラジオストク中央郵便局にて、日本製品のテスト販売を実施し、その結果、ロシア全土に展開すべき商品とロシア郵便局が判断した場合、全国42,000店舗で販売できる可能性がある旨を提案。

### 3 プラットフォーム会合の様子



【岡村統轄監による説明】



【出席者からの意見】

### 4 ロシアビジネスセミナーの様子



【講師による説明】



【セミナー参加者】